



先月は本園乳児クラスでのRSウイルス感染拡大防止、職員の新型コロナウイルス感染による幼児クラスの臨時休園や水遊び等の延期等について、ご理解・ご協力を頂き、ありがとうございました。新型コロナウイルス感染者はさらに増加しております。今では小さい子どもにも感染している状況であり、以前よりも増して日頃の健康管理強化や生活リズムについて等、改めて見直し、注意していく必要があります。

これから気を付けていただきたいのは、10月頃より季節型インフルエンザ感染症も発生する時期に入ります。基本的な手洗いや手指消毒の徹底、外出時はマスク装着をし、感染予防対策を強化していくと共に、インフルエンザワクチン接種を受けるようにしていきましょう。

インフルエンザワクチン接種は10月から開始されるかと思えます。9月中旬以降より、かかりつけ医のワクチン接種日程を確認し、予定を組んでいきましょう。

予防接種をしていれば、万が一、インフルエンザに罹患したとしても、予防接種をしていれば、症状を重篤させない予防効果がありますので、予防接種をしていくことをお勧め致します。



子どもが新型コロナウイルスに感染したらどんな症状がでるのでしょうか？

最近では家庭内感染による子どもの感染者も増えていきます。

発熱、濁った咳を認める一方で、鼻汁や鼻づまりなどの上気道症状は比較的少ないとされています。

大人と同じように、発熱が続き肺炎になる例も報告されています。

一部では嘔吐、腹痛や下痢などの消化器症状も認めるようです。

子どもの重症化については大人と比べると少ないようですが、大人と同様に呼吸状態が悪くなることもあります。

2歳未満の子どもは比較的重くなる傾向があり注意が必要です。

(日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会新型コロナウイルス感染症に関するQ&Aより抜粋)

子どもの健康状態 なにを見れば?

機嫌		食欲	いらない
顔色		呼吸	息苦しそう 胸がベコベコ へこむ呼吸

他にも...意識がはっきりしない・おう吐繰り返し
➔保健所やかかりつけ医に相談を

8月感染症情報

本園
RSウイルス感染症 18名
新型コロナウイルス 1名(職員)

乳児クラスでは、鼻汁等の風邪症状が長引き、その影響で中耳炎になるお子さんが数名いました。

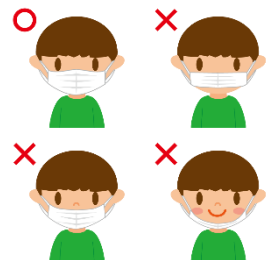
分園
病名のつく感染症の発生はありませんでした。

登園時よりマスク装着を!!

幼児クラスのマスク装着について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、門に入る前からの装着をお願いします。

またサイズが合っていないお子さんがいます。

よく鼻が出てしまうような小さいサイズのマスクや耳のゴムがゆるい等見受けられるので、サイズの見直しをお願いします。





鼻水症状、気をつけましょう!!

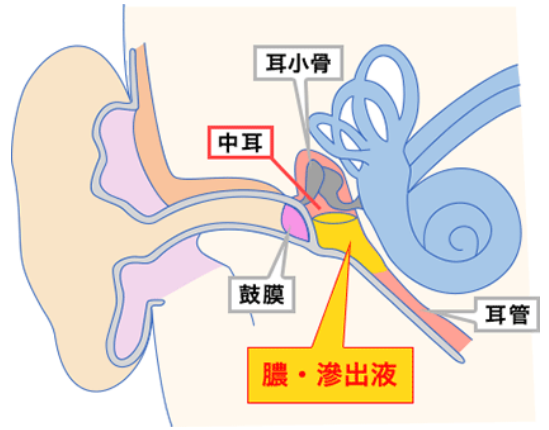
軽い鼻水やせき症状だと様子を見ていいかなと思ってしまいますが、鼻水の細菌やウイルスが鼻から耳管を通り中耳炎などの症状を引き起こし、悪化させてしまう場合があります。

また、鼻水がダラダラと出始めた場合、その後に発熱することもあります。

出来れば症状が出始めた1日は登園を控え、お家で体調を整えるようにしましょう。

また、以下の症状がみられる場合は、お休みをして病院へ受診をしましょう。

- ①咳がひどくて夜、咳で目が覚める
- ②ゼイゼイして呼吸がしんどそう
- ③咳き込んで食事がとれない
- ④連続して咳き込んでいる
- ⑤咳や鼻水が強くて機嫌が悪い
- ⑥黄色～緑色の鼻汁が常に出ている（細菌によるもの）
- ⑦耳をよく触る（中耳炎の疑いがあります）



中耳炎になると、子どもは大人より耳の機能が未発達のため、中耳炎が長引くことが多いです。夜間鼻づまりで起きてしまう、ずっと鼻汁が流れ出るなど症状がある場合は、内服する以外に医師と相談し鼻吸引を適宜してもらおうとよいでしょう。また2歳ごろより、鼻かみの練習をしていきましょう。

9月9日は救急の日です



ご家庭での事故予防や救急用品など、もう一度見直してみましよう。

事故防止チェックリスト

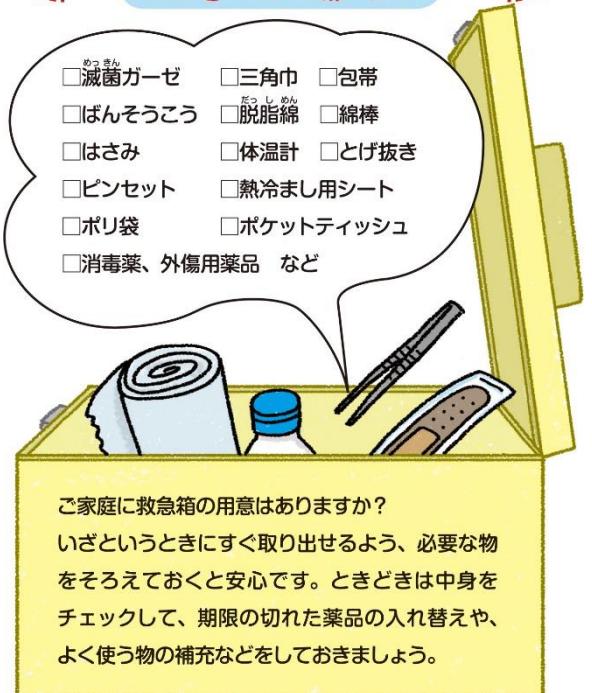


- 床に小さな物が落ちていないか
直径 39 mm以下の物は赤ちゃんの口に収まり、誤飲や窒息事故につながる危険があります。
- 危険なものを子どもの手が届く場所に置いていないか
薬や洗剤、たばこ、刃物、高温の蒸気がでる炊飯器や加湿器など、危険なものはしまい、危険な場所（キッチンなど）は近づけないように注意しましょう。
- 食事中遊ばないようにしているか
食べ物を詰まらせ、窒息に繋がる危険があります。
- 浴室は子どもが一人で勝手に入れないようにしているか
熱湯での火傷や、溺死の危険性があります。かなり浅い水深でも溺れてしまいます。入口のロックだけでなく、浴槽の水は常に抜いておきましょう。
- コンセントの穴をふさいでいるか
コンセントに物や指を入れたりすると感電事故につながります。コンセントガード等で穴をふさいでおきましょう。
- ベランダに踏み台になるものがないか
物があると踏み台にして、よじ登れたりするので転落する危険があります。

9月9日は救急の日

救急用品の点検を

- 滅菌ガーゼ
- 三角巾
- 包帯
- ばんそうこう
- 脱脂綿
- 綿棒
- はさみ
- 体温計
- とげ抜き
- ピンセット
- 熱冷まし用シート
- ポリ袋
- ポケットティッシュ
- 消毒薬、外傷用薬品 など



ご家庭に救急箱の用意はありますか？
いざというときにすぐ取り出せるよう、必要な物をそろえておくことで安心です。ときどきは中身をチェックして、期限の切れた薬品の入れ替えや、よく使う物の補充などをしておきましょう。



9月保健行事
乳児健康診断
9月8日(水)